

土佐赤岡
絵巻祭り





とさあかおかえきんまつ 土佐赤岡絵金祭りへようこそ

土佐赤岡絵金祭りは、昭和五十二年、赤岡吉川地区商工会（現・香南市商工会）青年部が商店街の発展を願ってはじめました。もともと赤岡の北部、須留田八幡宮で行われていた神祭じんさいにならい、幕末より町に伝わる絵師金蔵・通称絵金の芝居絵屏風を商店街に並べながら、ビアガーデンや屋台、コンサートなど、さまざまな催しを行っています。現在、土佐赤岡絵金祭り運営を担うのは、屏風絵の所蔵家や商店主、商工会や絵金蔵、弁天座等団体が構成する土佐赤岡絵金祭り実行委員会。毎年、出し物の内容や販売品について、議論を重ねながら運営にあたっています。また商店はじめ多くの地域企業・団体や個人の方からの寄付によって支えられています。

赤岡町に伝わる絵金の芝居絵屏風二十三点は、平成二十一年、高知県保護有形文化財に指定されました。近年絵金祭りでもグッズの制作・販売などを通じ、作品を守る取り組みにも力を入れています。これからも皆さまに愛される祭礼文化となるよう、地域で育ててまいります。



えきん 絵金

絵師・金蔵、通称「絵金」（1812～1876）は、江戸末期、高知城下に生まれました。

生まれつき絵の才能に恵まれた金蔵は、文人画家・仁尾鱗江にのおりんとうに手習いをしたのち、土佐藩御用絵師・池添美雅いけぞえよしまさに師事して腕をあげました。18歳の時、師美雅の推薦により藩主息女・徳姫の駕籠かきの名目で江戸にのぼります。そこで藩邸御用絵師の前村洞和まへむらとうわに狩野派を学び、3年後に洞意の号を与えられました。土佐に戻った金蔵は、家老桐間家の御用絵師・林洞意はやしとうい たんゆうとして腕をふるいましたが、狩野探幽の贋作を描いた疑いをかけられ、御用絵師の職を解かれます。それから約10年の間、彼がどこで何をしていたかは、今でも謎のままなのです。やがて風絵たこえや幟のぼり、絵馬など庶民の注文に応じて絵を描く町絵師として活躍するようになった金蔵が、おばを頼って滞在したといわれる赤岡には、彼の芝居絵屏風の代表的作品が高知県内で最も多く伝えられています。65歳で波乱の生涯を終えた絵金は、妻初菊はつぎくと共に、高知市薊野・真宗寺山のお墓に眠っています。

土佐赤岡絵金祭り

【開催日】 毎年7月第3土・日曜日
【時間】 午後6時から午後9時
【屏風展示】 午後7時から午後9時
【屏風点数】 23点
※但し、修復のため、一部展示できない場合があります

【場所】 赤岡町本町・横町商店街
【駐車場】 祭り会場周辺に無料駐車場あり
【所要時間】 商店街は約550m程、約1時間で全ての絵をご覧いただけます





夏祭りの夜には、絵金屏風のレプリカが飾られます



祭礼の間、街灯や民家の照明は消され、提灯と蠟燭の灯りが芝居絵屏風を照らし出します



須留田八幡宮神祭

【開催日】毎年7月14・15日

【屏風展示】午後7時から午後9時頃

※所蔵家である氏子により屏風展示が行われます

※夜店などの出店はありませぬ

【展示場所】赤岡町本町商店街

【屏風点数】18点

※但し、修復のため、一部展示できない場合があります

【駐車場】屏風展示場所近辺に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



絵金祭りのルーツ 須留田八幡宮神祭

町の北部に位置する須留田八幡宮。

土佐赤岡絵金祭りに飾る二十三点の芝居絵屏風のうち、十八点は本町筋の氏子より、この神社に奉納された作品です。

赤岡では伝統的にこの須留田八幡宮の夏の祭礼(七月十四・十五日)の夜、神社から約一・五キロメートル程離れた氏子の商家の軒先に、芝居絵屏風を点々と並べます。絵金祭りが“動”とするなら、こちらは“静”の祭り。にぎやかなイベントや夜店はありませんが、絵をじっくり見たい方にはこちらがおすすぬ。神祭の夜は、現在も暗闇にほのかに浮かび上がる、幕末当時から見るのができます。



香南市赤岡町 須留田八幡宮神祭

しばいえびょうぶ 芝居絵屏風とは？

歌舞伎や浄瑠璃のクライマックスを、二つ折りの屏風に描いた土佐独特の形式。幕末から昭和にかけて、神社やお堂の夏祭りのため氏子たちが絵金やその弟子たちに競い合って注文しその屏風を奉納することが大流行しました。その芝居絵屏風の代表的な作品が数多く残る赤岡は、かつて香南の商都として大変栄えた町でした。一年分の米代にも当たると言われた高価な屏風絵は、この赤岡の豪商たちがいわばパトロンとなって描かせたものと考えられます。赤岡のみならず、高知県沿岸部を中心に約十九所で今も芝居絵屏風を飾る夏祭りが行われ、現在では出されなくなつた作品を含めると二百点以上の芝居絵屏風が伝えられています。



高知市鴨部 郡頭神社



高知市朝倉 朝倉神社



南国市稲生 河泊神社

芝居絵屏風を 守る人々

赤岡絵金屏風保存会

赤岡に残された芝居絵屏風は、奉納された頃より代々、所蔵家宅に保管されてきましたが、高齢化が進むなかでより安全な保管場所が求められるようになり、平成十七年二月、収蔵庫をそなえた美術館・絵金蔵が完成しました。以後、芝居絵屏風がこの絵金蔵に保管され、夏祭りの夜には町内四地区と個人からなる所蔵家のもとに、年一度の里帰りをするのが恒例となっています。

現代の所蔵家たちも、商いをしながら屏風を活かし、守り、後世に伝えていく活動が続いています。



動く絵金の世界

土佐絵金歌舞伎伝承会

絵金祭りを目玉、土佐絵金歌舞伎。絵金文化を盛り上げまちの活性化に繋げようと、平成五年に地元有志が「土佐絵金歌舞伎伝承会」を結成しました。毎年絵金祭りの日に、絵金の芝居絵屏風に描かれた物語をまちの商店主など地元の人々が演じ、人気を博しています。役者、大道具、衣装など自分たちですべて手作り。使いやすいよう、演じやすいよう、仕事などのあいまに日々練習・工夫を重ねています。時に親子三代が世代を超えて、活動が続いています。



夜店 ビアガーデン お化け屋敷



芝居絵屏風と共に、絵金祭り
に欠かせないのが夜店やビア
ガーデン。
おっかなびつくり絵金の芝居
絵屏風を楽しんだ後、大人は
酒など片手に語らい、子ども
は夜店のゲームに興じたり…。
また、ビアガーデンのステージ
では、さまざまなゲストが楽
しませてくれます。
毎年恒例のアーティストライ
ブ、ダンスやカラオケ大会な
どで、会場は開始から終了
時間まで大盛況です。
絵金の芝居絵屏風を守るた
め、火を使用する夜店は絵の
並ぶ通りと異なります。
また平成二十四年の絵金祭
りで復活した香南市商工会
青年部による恐怖のお化け
屋敷は、手作りながら好評を
博していたお化け屋敷を、さ
らに作りこんで怖さもグレイ
ドアップしました。ここに入
れば、夏の夜の暑さが、しばし
忘れられるかも…。

老若男女の五感を刺激！

絵金祭りを

もっともっと楽しむ

祭りの始まる前に立ち寄れる
おすすめスポットもあります



絵金戯画スライドショー

とさを商店
TEL
0887-543235



日用雑貨や食品、青果など
の販売兼飲食店・とさを商店
では、毎年絵金祭りの日に、
郷土史家・野村土佐夫氏ら
による絵金戯画の解説をス
ライドショーで行っています。
午後から数回の上映がある
ので、祭り前の散策を兼ねて
訪れてみては。また、香南市
名物の「中目」や、赤岡特産の
ちりめんじゃこを使ったとさを
を商店オリジナル「ちりめん
おこげ」など、県内外の観光
客に大好評の地元名物が味
わえます。絵金祭り限定のメ
ニューもあるので、こちらもも
お見逃しなく。

手作り絵金グッズ

やつゆ会金木屋



平成七年より、絵金祭りに来たお客様のお
土産にと、絵金グッズの手作りを始めた赤
岡の主婦グループ。数に限りがあるので、お
目当ての品はお早めに。



絵金蔵内ショップ、
絵金祭り会場内で
販売

酒蔵開放・ふるまい酒

豊の梅
高木酒造株式会社
TEL
0887-551800



明治十七年から地酒の製造を続けている
高木酒造。香南市赤岡町の唯一の酒蔵として
絵金を核とした町おこしに力点を置いた活
動を行っています。絵金祭りの当日は、「酒蔵
開放」を行い、酒蔵内の見学や、大吟醸から地
酒リキユールまで十種類近くの地酒試飲体
験、記念酒などの販売を行っています。夜の
絵金祭りに昼間から来られるお客様の受け
入れ場所として始めた行事が、今では絵金
祭りの目玉イベントのひとつとなっています。

祭り会場では振る舞い
酒に協賛。よく冷えた
純米吟醸酒などを樽か
らすくって無料で配り
ます。限定販売のワン
カップ酒「絵金蔵記念
カップ」も毎年大好評！



弁天座

べんてんざ

弁天座は明治三十三年頃、赤岡町の旦那衆がお金を出し合い芝居小屋を作ったのはじまります。昭和三年、一度火災に遭いますが、すぐ再建されました。当時は毎日のように大衆演劇や映画が興行し、人の波が絶えなかつたといえます。しかし時代の波には逆らえずやがて客足が遠のき閉館に至りました。

かつて娯楽の発信源だった弁天座。その復活を願う多くの人々によってふたたび平成の世に装いも新たに誕生しました。弁天座の一角に移築された銭湯「旭湯」の一部は、赤岡の町おこしの情熱を伝えています。



平成の芝居小屋 弁天座

せりやすっぱんのある本格的な歌舞伎舞台を備え、多目的スペースとしても利用可能。貸ホールとして、地域の催し物やサークル活動、コンサートなどに利用されています。

弁天座

香南市赤岡町 795
TEL/FAX 0887-57-3060
<http://www.pikara.ne.jp/bentenza/>
e-mail bentenza@me.pikara.ne.jp

【開館時間】

< 貸館 > 午前9時～午後10時
(貸館の予約についてはお問い合わせください)

< 貸館のない日は見学可 >
午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

【休館日】

毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合は翌火曜日)

赤岡のアイドル、「おばば」の愛称で親しまれていた故・横矢登志さんは、土佐絵金歌舞伎伝承会立ち上げの中心メンバー。弁天座の再建はおばばが語り続けてきた長年の夢でした。今は、弁天座内の「旭湯」番台で、そっくりさん人形が



絵金
LOVE!



絵金蔵

えきんぐら

赤岡町内に伝わる芝居絵屏風二十三点を収蔵し、絵金の魅力を紹介する美術館。長年にわたる住民参加のワークショップを経て、平成十七年に開館しました。町の古い米蔵を改修した建物には、提灯を手に入る闇の展示室、古布のキルトで再現された町並み、町の奥さん手作りの黒衣人形など、町のために議論を重ねてきた人々の想いが詰まっています。

開館当初より、香南市の指定管理を受けた町の商店主を中心とするボランティア組織、絵金蔵運営委員会が地域の協力を得ながら運営を行っています。

絵金蔵 2階の
手作り黒衣人形
おどかすつもりはない
けんどい、出会いがしらに
みんなびっくりしゆう。
僕に会いに来てね～



通称
「えうち君」



第1展示室「闇と絵金」
*祭り期間中は展示替えを行います



第2展示室「蔵の穴」

絵金蔵

香南市赤岡町 538
TEL/FAX 0887-57-7117
<http://www.ekingura.com>
e-mail ekingura@mxi.netwave.or.jp

【開館時間】

午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

【観覧料】

大人500(450)円 高校生300(250)円
小・中学生150(100)円
*()内は15名以上の団体料金

【休館日】

毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌火曜日)
12月29～31日、1月1～3日

絵金蔵夜間開館

【開催期間】

須留田八幡宮神祭及び金祭りの日
午後6時～8時(入館締切午後7時30分)

特別展示

【開催期間】

祭りが行われる期間中
絵金の白描画他、通常は公開されない作品を中心に特別展示を開催します。

祭りの日も楽しめる！



絵金祭り INFORMATION

鑑賞のご注意

- ❌ **フラッシュ撮影禁止**
三脚での撮影は可能ですが、他のお客様の鑑賞にご配慮くださいますよう、お願いいたします。
- ❌ **屏風に手をふれぬよう、またカメラや荷物が当たらぬよう、ご注意ください。**
作品の保全、鑑賞環境の維持のため、スタッフ及び屏風絵の脇にいる所蔵家よりお声掛けする場合がございます。
- ❌ **雨天の場合、各所蔵家の家の軒下や土間内で見ていただけますが、風を伴う激しい雨の場合、所蔵家の判断で展示中止とさせていただきますことがあります。**

交通のご案内 所要時間は目安です

🚆 JR、ごめん・なはり線をご利用の場合

JR高知駅よりごめん・なはり線あかおか駅まで約40分、あかおか駅より徒歩約5分
※後免駅～奈半利駅間は、土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線

🚗 車をご利用の場合

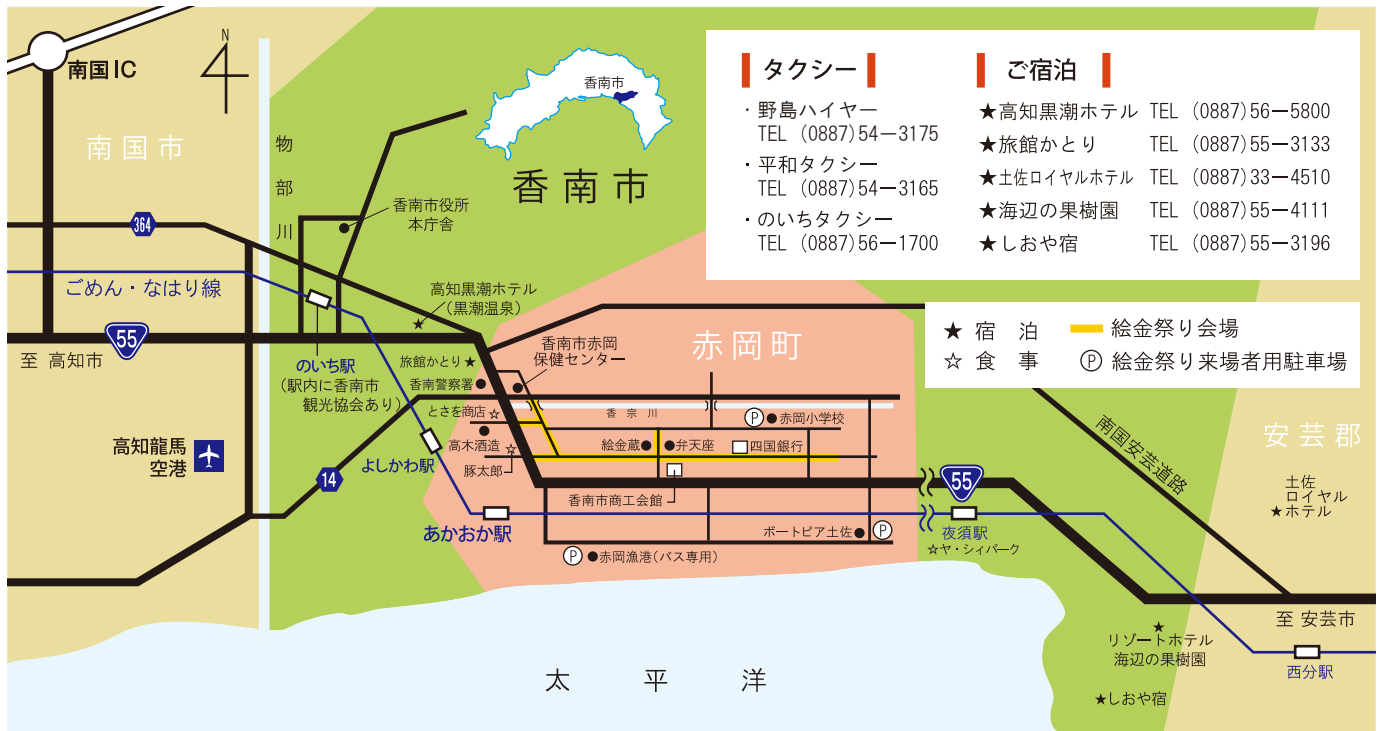
- ・JR高知駅から約40分
- ・高知自動車道「南国IC」から室戸方面へ約30分
- ・祭り会場周辺に無料駐車場あり

✈️ 飛行機をご利用の場合

高知龍馬空港よりタクシーで約10分



MAP



お問い合わせ先

土佐赤岡絵金祭り実行委員会事務局 [香南市商工会内]
高知県香南市赤岡町 691-2 TEL 0887-54-3014
(営業時間午前8時30分～午後5時15分/定休日:土・日・祝日)

香南市観光協会 <http://kounan-navi.com/>
高知県香南市野市町西野 2056 TEL 0887-56-5200
(営業時間午前8時30分～午後6時30分)

